

平成29年度 施策評価シート

[ 施策No. ] [ 施策名 ]		[ 51 ] 健康危機管理の推進			主管	健康部 生活衛生課
施策の概要	長期総合計画体系	[ 将来像 ] Ⅲ 暮らしやすいまち [ 基本目標 ] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [ 小柱 ] (3)安全で健康な生活環境の確保				
	10年後のめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型インフルエンザなどの大規模な感染症等の健康危機が発生した際、感染の拡大を最小限に抑え区民の生命と健康を守るため、迅速に対応できる体制が整備されています。</li> <li>● 結核に関する効果的な検診が実施され、結核の早期発見、早期治療、治療完遂率の向上が図られています。</li> </ul>				
	主な取り組み	① 健康危機発生時の体制整備	⑥			
		② 結核対策	⑦			
		③	⑧			
		④	⑨			
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		模擬訓練	年1回	年2回	年1回	年1回
		結核罹患率 ※人口10万人あたりの新たに発生する結核患者数	52.2 (25年)	減少	35.7 (26年)	37.6 (27年)
評価結果	A A 順調である B 一部課題がある C 課題がある	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
		<p>健康危機発生時の体制整備に向けては、平成27年度に新型インフルエンザ等対策マニュアルを策定し、平成28年度にBCPの修正、及び病院と連携し陰圧テントの設営・撤去を伴う実践的な模擬訓練を実施した。また、健康危機管理連絡協議会において関係機関と情報共有や意見交換を行うことで、健康危機に対し迅速に対応できるよう連携を図っており、協議会の開催数は行政計画事業量の目標を達成している。これらの取り組みにより、健康危機発生時における感染の拡大を最小限に抑えるための体制整備が進んだ。結核対策では、感染拡大防止に効果が大きい早朝・日本語学校留学生等結核検診について、行政計画事業量を上回る回数実施している。また、接触者健診を行い、結核感染者の発見及び早期治療による将来の発病リスクの減少につなげている。これらの取り組みにより、施策の指標である結核罹患率は計画策定時と比較して大幅に減少している。</p>				
学識経験者からの意見		<p>今後、海外からの来訪者が増加していくことを踏まえると、健康危機発生時の体制整備や結核対策が順調に進んでいることは望ましい。 新型インフルエンザ等の発生時に対応するため、対策マニュアルの策定やBCPの修正等を行っており、また、感染拡大防止策に必要な資器材についても、計画的に買い替えし、備蓄が進められていることは評価できる。</p>				

施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)
1	(161)健康危機管理体制整備	生活衛生課	健康危機管理連絡協議会	年2回	目標	2回	2回	2回
			1回		実績	2回	2回	2回
		生活衛生課	模擬訓練	4回	目標	1回	1回	2回
			1回		実績	1回	1回	2回
					目標			
			実績					
2	(162)新型インフルエンザ等対策	生活衛生課	対策マニュアル・BCP	策定・運用 (模擬訓練活用)	目標	策定	運用 (模擬訓練活用)	運用 (模擬訓練活用)
			—		実績	策定	策定・運用 (模擬訓練活用)	運用 (模擬訓練活用)
		生活衛生課	区民への知識の普及啓発	実施	目標	実施	実施	実施
			実施		実績	実施	実施	実施
					目標			
			実績					
3	(163)結核重点対象者対策の充実	保健予防課	早朝・日本語学校留学生等 結核検診	年14回	目標	14回	14回	14回
			13回		実績	16回	17回	14回
		保健予防課	施設従事者向け結核講演会	年3回	目標	3回	3回	3回
			3回		実績	3回	3回	3回
					目標			
			実績					
4					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
					目標			
			実績					
			目標					
			実績					